

経営比較分析表（令和4年度決算）

静岡県 掛川市

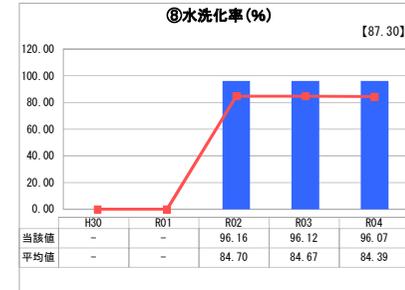
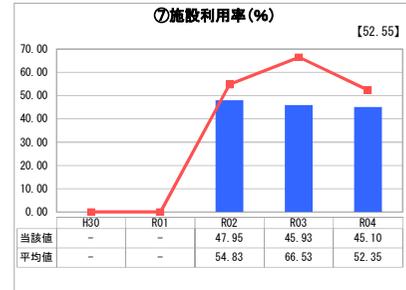
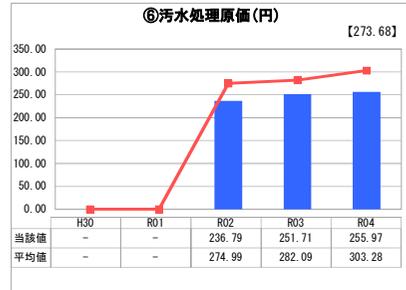
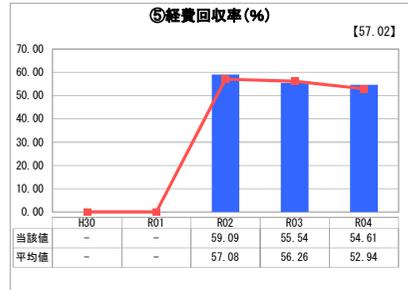
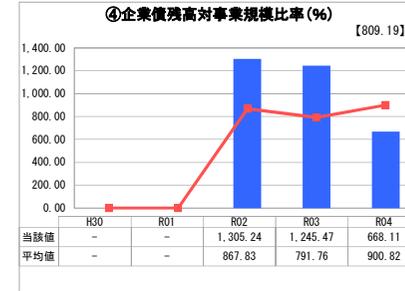
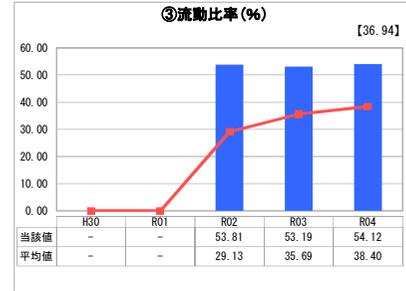
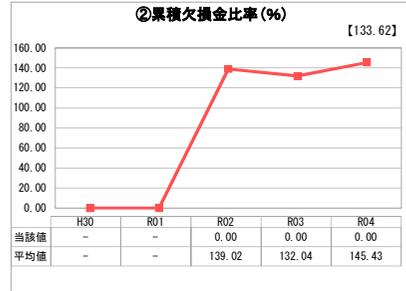
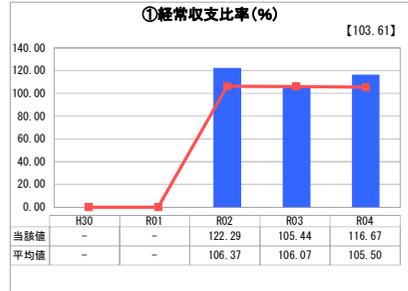
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	71.89	3.76	100.00	2,838

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
115,873	265.69	436.12
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,346	2.27	1,914.54

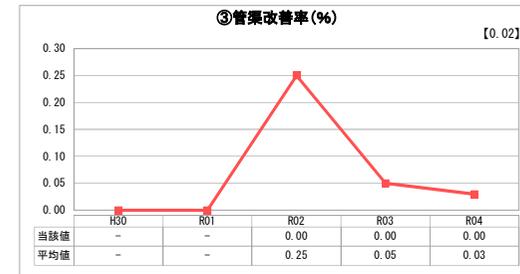
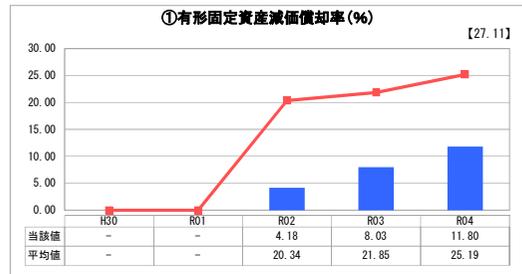
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性において、①経常収支比率は100%を超えており、収支の均衡は保たれています。しかし⑤経費回収率は54.61%と昨年度同様100%を下回っています。処理に係る費用が使用料収入以外の収入（一般会計からの繰入金）により賄われており、経費削減と適正な使用料の検討が課題となっています。③流動比率は100%を大きく下回っていますが、流動負債の半分弱を企業債償還金が占めており、一般会計繰入金からの繰入金により賄われる見込みです。④企業債残高対事業規模比率については昨年度より大幅に低くなっていますが、これは処理区域の一部を公共下水道に編入したためです。今後、償還ピークを迎える中で、引き続き新たな借入を償還額以内に抑えながら企業債残高の減少に努めます。⑥汚水処理原価は類似団体・全国平均より低い数値となっていますが、引き続き維持管理費の削減に取り組む必要があります。

経営の効率性において⑦施設利用率は類似団体・全国平均と比較して低くなっていますが、令和7年度（見込み）に公共下水道へ編入される区域があること、整備が既に終了していることから大幅な増加が望みにくい現状にあります。⑧水洗化率は類似団体・全国平均を上回っていますが、引き続き未接続世帯への啓発活動を行い水洗化率の向上を図ります。

2. 老朽化の状況について

当市農業集落排水事業は、令和4年度に公共下水道へ統合した処理区域を除き平成9年度から建設事業を開始しており、老朽化は現時点ではありません。

①有形固定資産減価償却率は、昨年度と比較し、有形資産減価償却費と有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価に大きな変化はないため、増加率は昨年と同等です。今後、この数値は減価償却を重ねていくことにより上昇します。

全体総括

課題として、経費回収率が低く汚水処理原価が高くなっており一般会計からの繰入金に依存している割合が高いこと、施設利用率の大幅な増加を見込めないことが挙げられます。今後、経営状況を改善するため、重要性や緊急性、修繕計画をもとに優先順位をつけ施設等の修繕を推進します。また、適正な使用料水準の検討を行い、健全な農業集落排水事業の継続を目指します。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。